

令和2年度総長賞受賞者一覧

被推薦者・団体名	推薦対象分野	推薦理由・受賞歴等
理学研究科物理学・宇宙物理学専攻DC3回生 ナメカタ コウスケ 行方 宏介	学業	2019年に運用開始した京大「せいめい」望遠鏡を用いて恒星で発生した「スーパーフレア」を検出した。この成果は筆頭著者として国際査読雑誌PASJに発表し、国内外の新聞やWEB記事で多数報道された。またスーパーフレア発生の統一的理解に大きく貢献した。
教育学研究科教育学環専攻DC3回生 マツナガ ミチコ 松永 倫子	学業	分子生物学や脳神経科学、医学、認知科学を融合した人間科学の新たなアプローチを創出し、ヒトの発達の個人差を説明しうる斬新な成果をあげてきた。その証左は、一流国際誌での3編の論文掲載や国際的学術界での多くの招待講演、国内外のメディア取材などで示されている。さらに、基礎研究の成果を社会実装するための産学連携活動にも注力し、科学的エビデンスに基づき母子の発達を支援する新たな商品・サービスの開発を行ってきた。これらの成果に対する高い評価は、特許出願やキッズデザイン協議会会長賞、BabyTech Award Japan受賞などによって客観的に示されている。
医学部医学科6回生 モリベ フミヤ 森部 文弥	学業	学部4年時に、米国最大の医学研究所・国立衛生研究所(NIH)に留学し、抗がん剤治療の効果の度合いを予測する新規マーカーに関する基礎研究を行った。帰国後、本学で同研究について特にリンパ腫に着目したプロジェクトを自ら着想し立ち上げ、NIHや国内の他大学の研究者と共同して本研究を進めた。リンパ腫の新しい治療標的マーカーを世界で初めて報告した当研究論文はPLOS ONEに受理され、高い評価を受けた。
バーチャルセキュアプラットフォーム開発チーム (代表)工学部電気電子工学科4回生 マツオカ コウタロウ 松岡 航太郎	学業	2019年度未踏IT人材発掘・育成事業に採択され、準同型暗号を用いた秘匿計算基盤であるVSP(Virtual Secure Platform)を開発し、これを以てスーパークリエイターに認定された。またこの成果に基づき論文を執筆し、国際会議30th USENIX Security Symposium も採択された。
体育会ボート部男子舵手なしペア (代表)工学部情報学科4回生 ヤマダ コウキ 山田 紘暉	課外	第98回全日本選手権大会準優勝 第47回全日本大学選手権大会優勝 令和2年京都市スポーツ大賞受賞
農学部食料・環境経済学科4回生 ホンマ キララ 本間 樹良来	課外	2020スキーオリエンテーリング北海道選手権大会学生パシュートクラスで優勝し、世界学生スキーオリエンテーリング大会選手権大会日本代表に選出された。(大会中止) Ski Orienteering World Cup Final 2020に出場し、日本人トップの成績を収め、ユニバーシアード冬季大会の代表に選出された。

学業 4件
課外活動 2件
合計 6件